

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 3 部門第 2 区分
【発行日】 令和 6 年 11 月 29 日 (2024.11.29)

【公開番号】 特開 2024-154382 (P2024-154382A)
【公開日】 令和 6 年 10 月 30 日 (2024.10.30)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2024-203
【出願番号】 特願 2024-61950 (P2024-61950)
【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)
A 6 1 P 35/00 (2006.01)
A 6 1 P 9/00 (2006.01)
A 6 1 P 9/14 (2006.01)
A 6 1 P 17/02 (2006.01)
A 6 1 K 31/683 (2006.01)

10

【F I】

A 6 1 K 45/00
A 6 1 P 35/00
A 6 1 P 9/00
A 6 1 P 9/14
A 6 1 P 17/02
A 6 1 K 31/683 Z N A

20

【手続補正書】
【提出日】 令和 6 年 11 月 21 日 (2024.11.21)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】

30

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

A B C B 5 - P I P 2 経路の賦活剤または阻害剤を同定するための方法であって、
A B C B 5 + 細胞を、A B C B 5 - P I P 2 結合を調節する推定組成物と接触させること；
P I P 2 経路の生成物である化合物のレベルを決定して、該レベルを、P I P 2 経路の生成物である化合物の基線レベルと比較すること、ここで、レベルが基線レベルより大きい場合、推定組成物は A B C B 5 - P I P 2 経路賦活剤であり、P I P 2 経路の生成物である化合物のレベルが基線レベルより低い場合、推定組成物は A B C B 5 - P I P 2 阻害剤である

を含む、前記方法。

40

【請求項 2】

A B C B 5 - P I P 2 経路を調節する推定組成物が、P I P 2 または P I P 2 アゴニストである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

A B C B 5 - P I P 2 経路を調節する推定組成物が、小分子である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

A B C B 5 - P I P 2 経路を調節する推定組成物が、抗 A B C B 5 抗体またはそのフラグメントである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

50

PIP2 経路化合物が、PIP3 である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

PIP2 経路化合物が、PI3K 経路のメンバーである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

ACCB5 + 細胞が、ACCB5 アイソフォーム 1 を含み、ここで、位置 970 におけるアミノ酸が、リジンである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

ACCB5 + 細胞が、ACCB5 アイソフォーム 2 を含み、ここで、位置 525 におけるアミノ酸が、リジンである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

ACCB5 - PIP2 経路を阻害する抗体またはフラグメントを同定するための方法であって：

ACCB5 + 細胞を ACCB5 に結合する推定の抗体またはフラグメントに接触させること；抗体またはフラグメントによる処置の後に ACCB5 - PIP2 結合を評価すること；PIP2 経路の生成物である化合物のレベルを決定して、レベルを PIP2 経路の生成物である化合物の基線レベルと比較すること、ここで、PIP2 経路の生成物である化合物のレベルが基線レベルより低い場合、推定の抗体またはフラグメントは、ACCB5 - PIP2 経路の阻害剤である、を含む、前記方法。

【請求項 10】

PIP2 経路化合物が、PIP3 である、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

PIP2 経路化合物が、PI3K 経路のメンバーである、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 12】

ACCB5 - PIP2 経路の賦活剤または阻害剤を同定するための方法であって：

請求項 59 に記載の ACCB5 アイソフォーム 1 または請求項 60 に記載の ACCB5 アイソフォーム 2 を、ACCB5 - PIP2 結合を調節する推定組成物と接触させること；PIP2 経路の生成物である化合物のレベルを決定して、レベルを PIP2 経路の生成物である化合物の基線レベルと比較すること、ここで、レベルが基線レベルより大きい場合、推定組成物は ACCB5 - PIP2 経路賦活剤であり、PIP2 経路化合物のレベルが基線レベルより低い場合、推定組成物は ACCB5 - PIP2 阻害剤である、を含む、前記方法。

【請求項 13】

ACCB5 - PIP2 経路を調節する推定組成物が、PIP2 または PIP2 アゴニストである、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

ACCB5 - PIP2 経路を調節する推定組成物が、小分子である、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 15】

ACCB5 - PIP2 経路を調節する推定組成物が、抗 ACCB5 抗体またはそのフラグメントである、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 16】

PIP2 経路化合物が、PIP3 である、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 17】

PIP2 経路化合物が、PI3K 経路のメンバーである、請求項 12 に記載の方法。

【請求項 18】

ACCB5 アイソフォームが、組み換えにより発現される。12 ~ 17 のいずれか一項に記載の方法。

10

20

30

40

50